

開講年次・時期	1年後期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	講義	単位数	1単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NC210	科目名	コミュニケーション技術Ⅱ	担当者名	棟方 ナナ子
授業の概要	さまざまな介護場面における専門職としての適切なコミュニケーション方法を学ぶ。利用者・家族・多職種とのコミュニケーション技術を習得する。				
科目の到達目標	・さまざまな症状や障害を理解し、それに応じたコミュニケーション技法を学ぶ。 ・専門職としてのチームコミュニケーション能力を習得する。				
DPの観点	②専門知識・技能 ④協働力 ⑤コミュニケーション能力				
授業時間外学修(予習・復習)	テキストの習熟と専門用語を調べる。予習・復習はそれぞれ1時間程度行うこと。				
フィードバックの方法	課題レポート及び試験結果を返却する				
単位認定の要件	授業時間内、決められた期日までの課題提出を重視する。授業への取り組みや試験で定められた基準を満たすことが単位認定の要件となる。				
評価の方法・割合(%)	試験60% 授業内提出物30% 授業内活動10%				
履修上の注意事項	介護福祉士資格取得必須科目 30分以上の遅刻は欠席とする。遅刻3回で欠席1回とする。				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			専門職のコミュニケーション1 感情表現を学ぶ	② ④ ⑤	コミュニケーションカード
2			専門職のコミュニケーション2 利用者の納得を学ぶ	② ④ ⑤	コミュニケーションカード
3			専門職のコミュニケーション3 利用者の同意を学ぶ	② ④ ⑤	コミュニケーションカード
4			専門職のコミュニケーション4 利用者への助言を学ぶ	② ④ ⑤	コミュニケーションカード
5			専門職のコミュニケーション5 利用者の意欲を引き出す技法を学ぶ	② ④ ⑤	コミュニケーションカード
6			専門職のコミュニケーション6 利用者と家族の意向調整を学ぶ	② ④ ⑤	コミュニケーションカード
7			専門職のコミュニケーション7 症状別・障害別技法を学ぶ	② ④ ⑤	コミュニケーションカード レポート課題
8			チーム内コミュニケーション1 対人援助職間のコミュニケーションを学ぶ	② ④ ⑤	コミュニケーションカード
9			チーム内コミュニケーション2 介護における記録の意義を学ぶ	② ④ ⑤	コミュニケーションカード
10			チーム内コミュニケーション3 介護記録の種類を学ぶ	② ④ ⑤	コミュニケーションカード
11			チーム内コミュニケーション4 介護記録の共有を学ぶ	② ④ ⑤	コミュニケーションカード
12			チーム内コミュニケーション5 介護記録の管理を学ぶ	② ④ ⑤	コミュニケーションカード
13			チーム内コミュニケーション6 介護記録の留意点を学ぶ	② ④ ⑤	コミュニケーションカード
14			チーム内コミュニケーション7 カンファレンスの意義を学ぶ	② ④ ⑤	コミュニケーションカード
15			チーム内コミュニケーション8 援助的コミュニケーションを学ぶ	② ④ ⑤	コミュニケーションカード レポート課題
期末試験			試験 まとめと確認		確認試験

使用テキスト	新・介護福祉士養成講座第5巻「コミュニケーション技術」 荘村明彦 中央法規
参考文献	介護福祉学 介護福祉学研究会監修 中央法規
備考	適宜資料配布

10の観点	①判断力②専門知識・技能③意欲・継続力④協働力⑤コミュニケーション能力⑥幅広い教養⑦主体性⑧社会性⑨情報活用能力⑩論理的思考力
-------	---

授業の自己評価	
---------	--